

【足立先生提出資料】

# シエラレオネにおける治療状況の概要

- 致死率：公式報告（34%）と実際（50-60%?）の乖離
- 治療内容：基本はWHO Pocket Guideの通り
- 軽症例は経口補液、重症例は経静脈輸液
- 頻用薬剤
  - 次亜塩素酸消毒液
  - 経口補液（ORS）
  - 乳酸加リンゲル液
  - 解熱鎮痛薬（アセトアミノフェン）
  - 消化管粘膜保護剤
  - 痛みが強い例にはオピオイド
  - マラリア治療薬
  - 広域抗菌薬（注射・経口）
- 診療要員が決定的に足りない
  - 小児や妊婦に対する特別対応はない
  - 輸液バッグを交換するスタッフがいない
  - 輸血は考慮の対象外
  - 呼吸が止まったらそれまで
  - 診療録の記載は入退院時のみ。経過記録は白紙

